

# 東海北陸ブロック報告

三重大学医学部附属病院

平山 雅浩

静岡県立こども病院

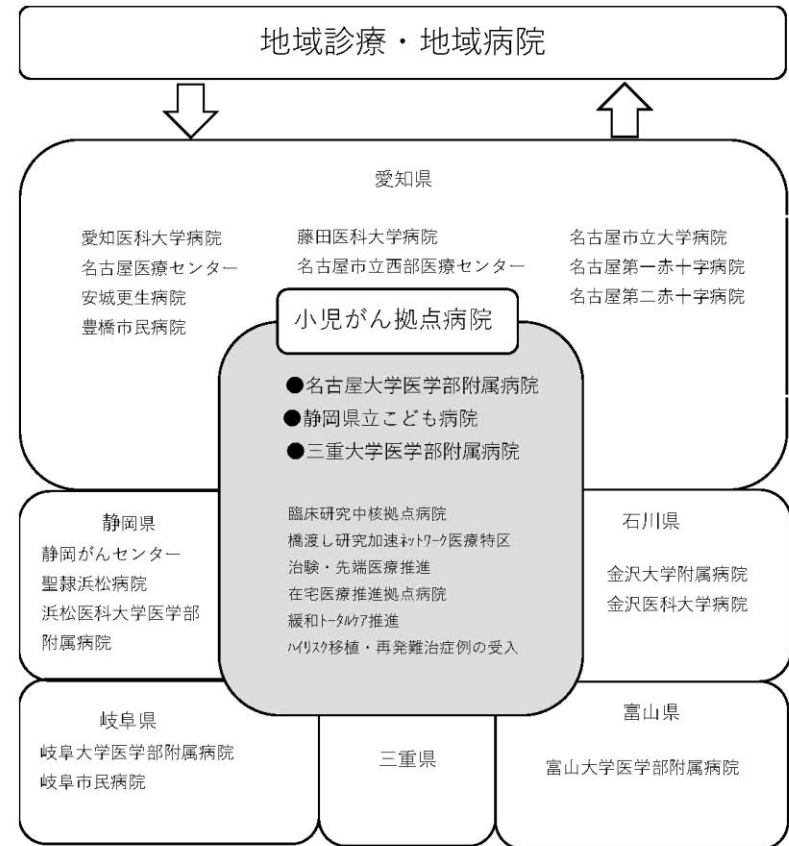
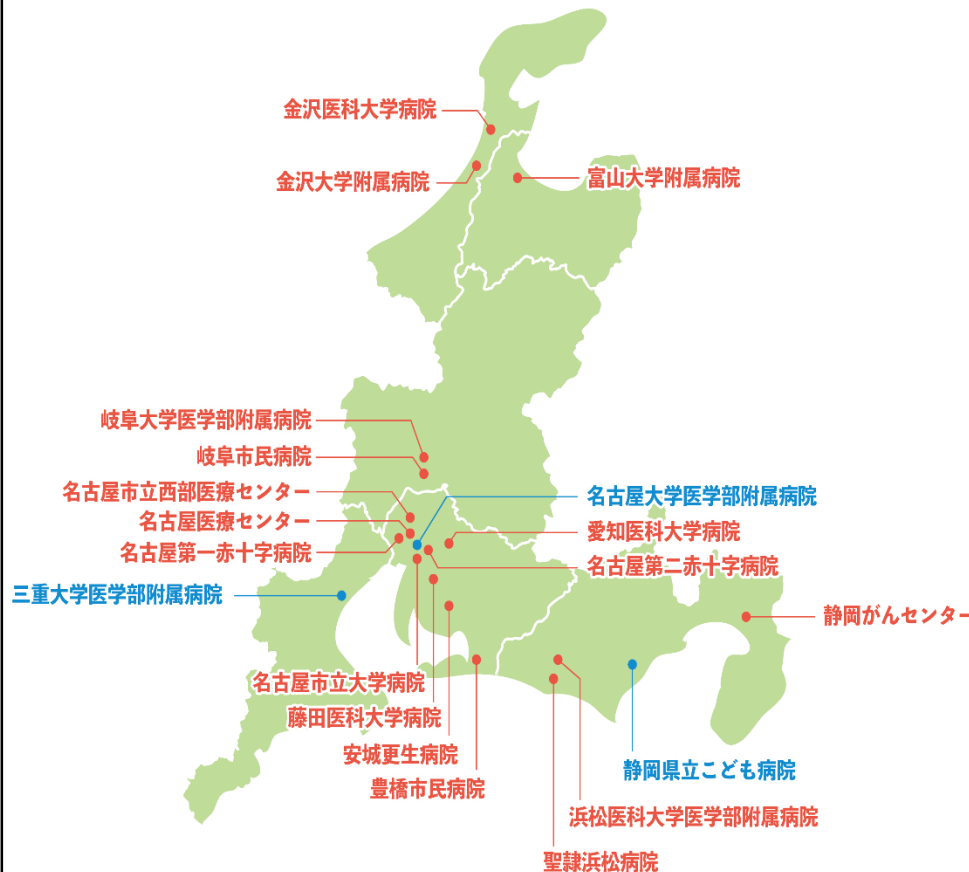
渡邊 健一郎

名古屋大学医学部附属病院

高橋 義行

# 2019年度の事業報告

## 東海北陸ブロック小児がん連携



## 第4回東海北陸ブロック地域

## 小児がん医療連携体制連絡協議会

日時: 2019年10月4日(金)

場所: 名古屋大学医学部附属病院

参加者: 17施設27人(拠点病院除く)

# 2019年度の事業報告

## 【TV会議システム 中部小児がんセミナー】

小児血液・がんセミナーin中部  
学会専門医更新単位認定（5単位）  
2019年10月8日  
接続拠点17か所：参加者104名  
2020年1月28日  
接続拠点18か所：参加者98名

## 【中部小児がん トータルケア研究会】

2019年9月28日 愛知県名古屋市開催  
参加者 116名



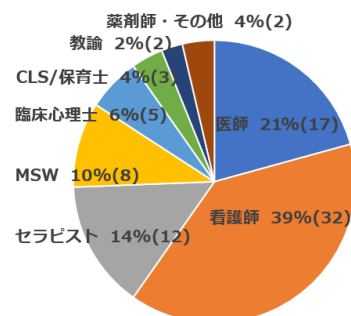
## 【小児がん看護研修会】

2020年2月1日 第2回開催  
参加者 7施設 16名



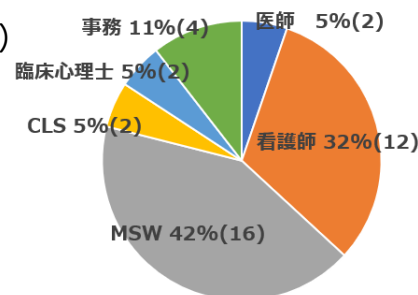
## 【アウトリチー型 多職種連携研修会（金沢）】

2019年6月29日  
参加者 8施設13職種 82名  
職種別内訳  
%（人数）



## 【小児がん相談支援部会】

2019年10月27日  
参加者 13施設6職種 38名  
職種別内訳  
%（人数）



## 【三重県がん生殖 医療セミナー】

2019年8月3日 第2回開催  
参加者 34施設 112名



## 【小児がん相談員 北陸ミーティング】

2019年6月29日  
参加者 6施設4職種 20名



# 2020年度の事業計画

## ■ 小児がん拠点病院と連携病院との連携構築促進

東海北陸ブロック地域小児がん医療連携体制協議会

日時：10月22日 方法：Web会議形式

## ■ 小児がん・AYAがん診療と相談支援の充実

効率的Web会議システムの導入



小児がん相談支援部会及び看護研修会の継続開催

AYAがん診療及び相談支援体制の課題抽出

## ■ 多職種連携の推進

アウトリーチ型研修会、中部小児がんトータルケア研究会

## ■ 小児がん終末期医療体制の実態調査



**多職種支援型長期フォローアップ外来: 多職種**(医師・薬剤師・MSW・看護師) **事前カンファレンス**による課題抽出・共有、当日問診票・面談・診察

**妊孕性温存の取り組み: 入院時に説明文書で説明**

- ・卵子・胚凍結 卵巣組織凍結: 対象 12-45歳
- ・精子凍結: 対象 思春期以降

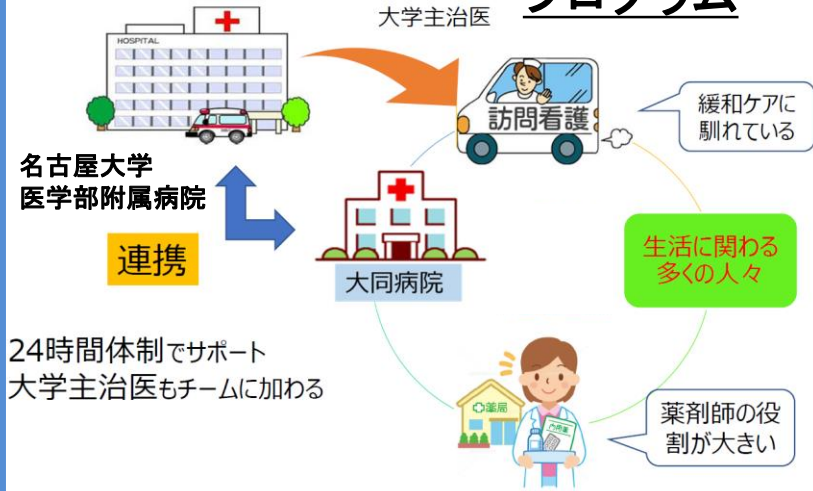
**AYA世代支援・学習支援:**

- ・学校カンファレンス: 地元学校と**入退院時、進学時**
- ・中高生への学習支援: 在籍校から**訪問教育実施**
- ・**学習支援ボランティア**サークル「パルタス」
- ・クロワッサンス(**AYA世代小児がん経験者の会**)

**PET,CT,MRI検査室、放射線治療室に  
子どものための装飾が完成(2020年2月)**



## 地域病院連携小児がん在宅医療プログラム



## 安価な白血病療法 名大がタイ支援へ

「最先端技術 途上国に広めたい」  
支援するのは、貧困の「癌」の患者。タイの白血病患者の救済。CAR-T細胞療法。名大がタイ支援へ。

タイでの白血病治療は、貧困の「癌」の患者。タイの白血病患者の救済。CAR-T細胞療法。名大がタイ支援へ。

「癌」の患者。タイの白血病患者の救済。CAR-T細胞療法。名大がタイ支援へ。

**タイ白血病治療支援  
CAR-T細胞療法製造  
技術支援契約し、  
2020年7月治療開始**



# 名古屋大学病院 事業計画

東海北陸ブロック

## 診療体制(長期フォローアップ外来含む):

再発・難治白血病または進行期小児固形腫瘍について、20例程度の診療を行う。また、年間30件程度の同種造血細胞移植実績を目指す。

生殖機能温存の支援を行う体制を構築し、地域ブロックで年間5例以上の精子、未受精卵子、卵巣組織、受精卵(胚)保存実績を目指す。

ブロック内医療機関による長期フォローアップへの取り組みに関する情報を公開する。成人医療機関に引き継ぐための移行プログラムを作成・実行し、年間5例程度(併診を含む)の移行実績を目指す。

## 人材育成:

拠点病院の特性を活用した研修(がん免疫療法や在宅医療など)を年1回開催する。

専門資格取得を目指す医師・看護師・薬剤師の研修に対する支援を行い、年間1名以上の専門資格取得を目指す。医師・看護師・薬剤師・放射線技師・社会福祉士等の人材交流を計画し、年間1名以上の研修受け入れを目指す。

TV会議システムを利用した北陸・東海地区両方の医療機関が参加する症例検討会・研究会を年間2回程度開催する。

## 臨床研究:

地域ブロックを中核として、臨床研究を推進する協力体制を整備し、現在予定している臨床研究を協力して行うことを目指す。

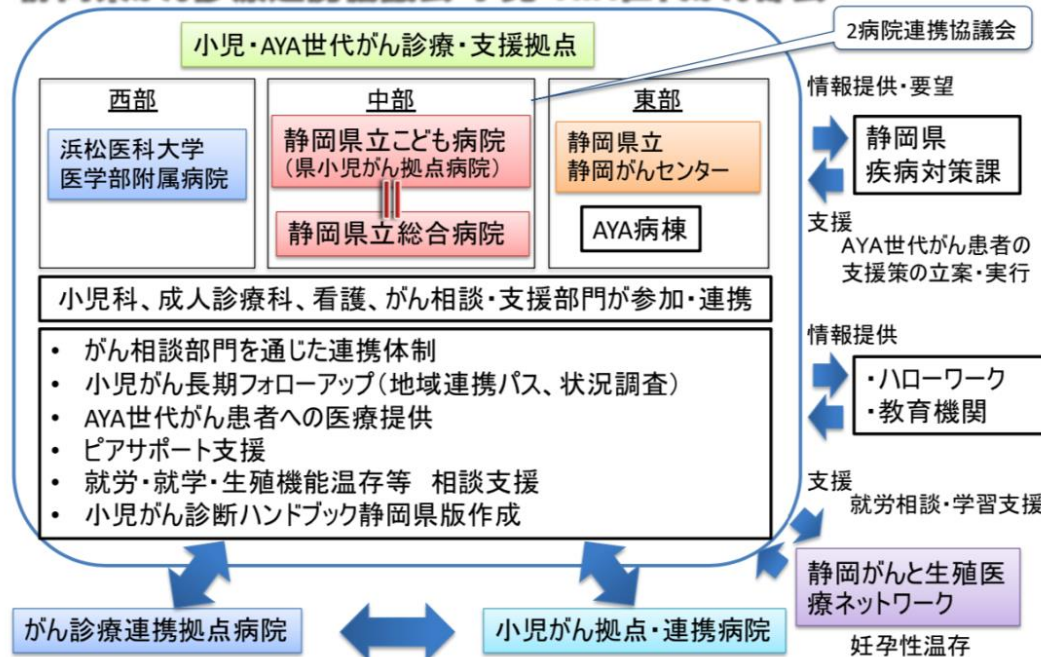
## 重点的に取り組んでいる課題:

医療安全対策に係る研修会を年1回以上開催することを目指す。

# 静岡県立こども病院事業報告

東海北陸ブロック

## 静岡県がん診療連携協議会 小児・AYA世代がん部会



## 小児がん診断 ハンドブック

東京都小児がん診療連携協議会編  
静岡県がん診療連携協議会  
小児・AYA世代がん部会改訂



- 小児がん相談室の拡充
  - 専従看護師の配置、新相談室の設置
  - 成人医療移行のハブ機能付与
- 長期フォローアップ体制の見直し
  - 成人医療移行実績把握
  - 移行フォーマット運用開始
- 生殖機能温存体制の整備
  - SOFNETとの連携(生殖温存医療機関との合同カンファレンス、事例検討)
  - 情報提供方法の開発(県内小中学校性教育実態調査施行)
- 小児がん連携病院を指定
- AYA世代がん
  - 医療者向け研修会開催
  - 静岡版AYA支援ネットワーク構築のためのワークショップ(医療者向け研修)開催
  - ピアサロン(当院)、若者たちの大座談会(静岡がんセンター)開催
  - 県立総合病院がん市民講座で講演
- ICT利用教育支援
- 病棟改修計画
- 小児がん診断ハンドブック静岡県版配布
- がんゲノム医療連携病院に指定
- 東海・北陸ブロック小児脳腫瘍研究会計画
- 小児・AYA世代がん部会組織強化

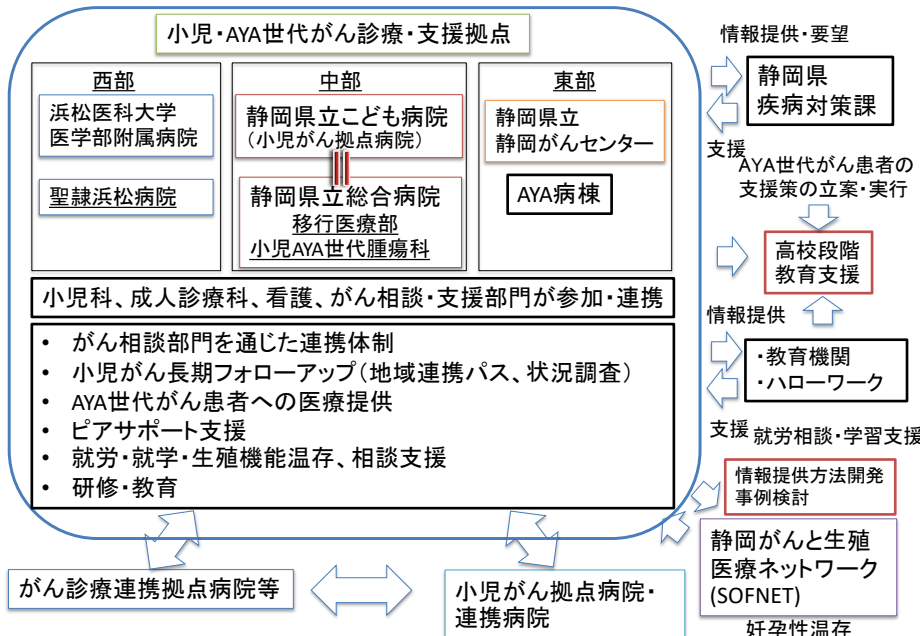


# 静岡県立こども病院事業計画

東海北陸ブロック

- 小児がん連携協議会、部会、研究会、
- 東海北陸ブロック脳腫瘍診療連携
  - ブロック内小児がん拠点病院・連携病院診療体制調査
  - 東海北陸ブロック小児脳腫瘍研究会開催
- 臨床研究体制強化
  - CRC増員
  - 支援体制強化
- 小児がんゲノム医療の実践
  - 成育医療研究センターとの連携
  - 院内ゲノム医療体制整備
  - 遺伝カウンセラー増員
- オンラインカンファレンス(脳腫瘍、緩和ケア)

## 静岡県がん診療連携協議会 小児・AYA世代がん部会



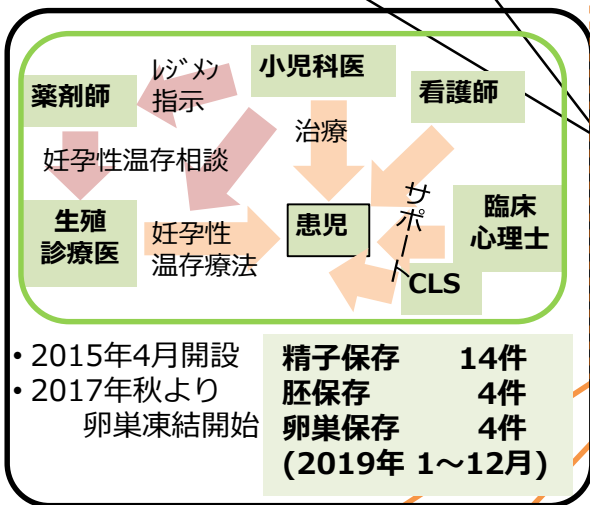
- 小児がん相談室の拡充
  - 専従看護師に加え、新たにMSW採用済
  - 成人医療移行のハブ機能拡充
  - 患者会、ピアサポート支援継続
- 長期フォローアップ体制強化
  - 成人医療移行実績把握
  - 移行フォーマット運用
- 生殖機能温存体制の整備
  - SOFNETとの連携(生殖温存医療機関との合同カンファレンス、事例検討)
  - 情報提供方法の開発(県内小中学校性教育実態調査解析、説明文書の作成)
- AYA世代がん研修・ピアサロン実施
  - 院内外医療者向け研修会開催
  - 静岡版AYA支援ネットワーク構築のためのワークショップ(県内医療者向け研修)開催
  - ピアサロン(当院)、若者たちの大座談会(静岡がんセンター)開催
- 静岡県がん診療連携協議会 小児・AYA世代がん部会組織強化
  - 県立総合病院に移行医療部小児・AYA世代腫瘍科設置済み
  - 聖隷浜松病院(小児がん連携病院、リプロダクションセンター)正式参加
  - 高校段階教育支援について県担当部署と検討
  - SOFNET参加施設との連携強化
- 病棟改修
  - クリーン化
  - AYA世代患者療養環境整備
  - ICT教育支援用アクセスポイント設置
- リハビリテーション提供体制拡充



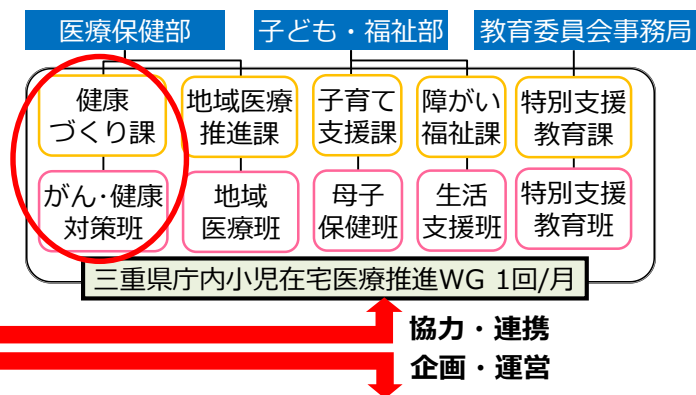
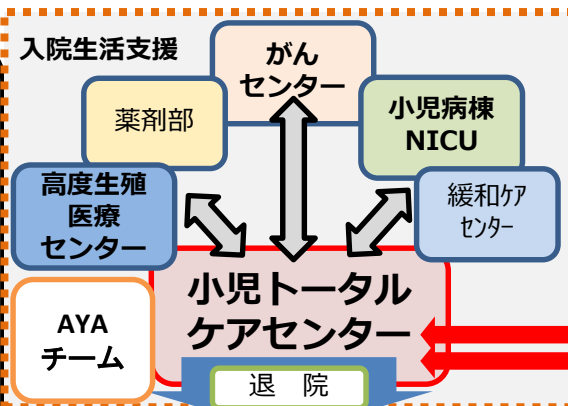
# 三重大学病院 2019年度事業報告

東海北陸ブロック

## AYA世代を含む 妊孕性温存 高度生殖医療センター



## 多機能を有する小児トータルケアセンター による院内外連携体制整備

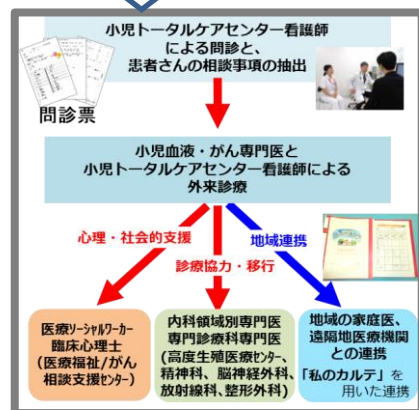
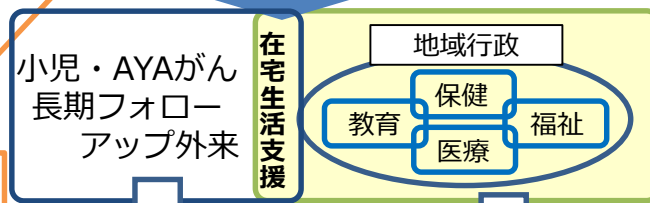


## 東海北陸ブロック内研修



終末期在宅医療支援課題に向けて

- 当院30年間のまとめ
- グリーフケアの実践を通して医療者の振り返り



## AYAチーム発足(2019年度より)

定例会 1/月

<メンバー>

医師：小児科・腫瘍内科（成人）・  
乳腺外科

看護師：がん看護専門看護師・緩和ケア・  
化学療法認定・小児看護専門看護師

<活動内容>

- ・AYAに関する実態調査
- ・AYAに関する啓蒙活動（講義・学習会）
- ・患者と家族に対する生活支援の検討
- ・ケースカンファレンス

# 三重大学病院 事業計画

東海北陸ブロック

## 三重大学医学部附属病院

### がんセンター

- └ 小児がん集学的治療
- └ **AYA がん医療**
- └ Tumor Board

### 緩和ケアセンター

### 医療福祉 / がん相談支援センター

- └ 相談支援窓口

### 高度生殖医療センター

- └ 妊孕性温存

### 院内学級

### 長期療養施設

### がんゲノム拠点病院

- └ 遺伝子相談

### 臨床研究開発センター

- └ 認定倫理審査委員会

### 小児トータル ケアセンター

医師  
看護師  
臨床心理士  
CLS  
MSW  
事務

### 在宅緩和医療

### 長期 FU

### 地域人材育成

### 小児病棟

常勤医師 17 名  
(小児科 12, 小児外 5)  
看護師 (7:1 看護)  
CLS 3 名  
保育士 2 名  
薬剤師 2 名  
臨床工学技士  
学生ボランティア  
事務

### 外来

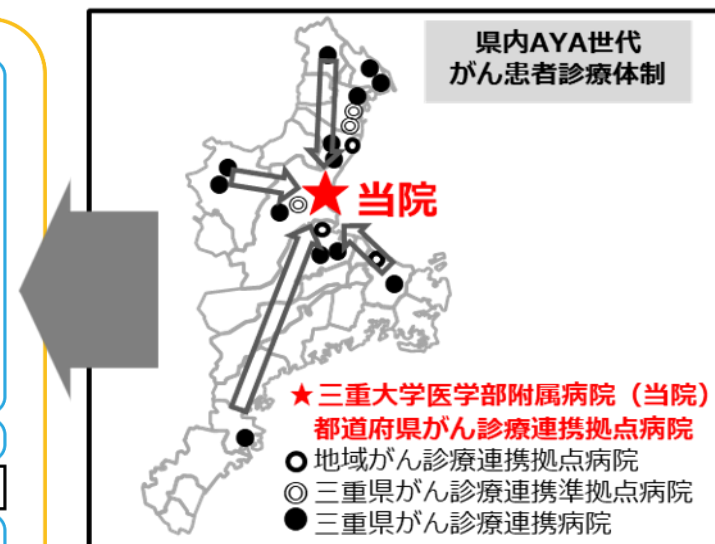
### 集中治療室

小児造血幹細胞  
移植チーム

### AYA チーム

### 小児がんサージボード

リハビリテーション部  
(がんリハ)



小児がん患者と家族支援体制整備:

AYAがん診療支援体制の充実:

小児・AYAがんの長期FU体制の充実:

- ・外来機能の充実 — 専属看護師、CLS配置
- ・入院から外来の継続的支援の課題抽出・対策
- ・院内AYAチーム — 課題抽出・対策
- ・ICT教育研究事業継続(県教育委員会との協働)
- ・移行期医療支援コーディネーター設置
- ・フォロー中断患者さまの再受診に関する検討と実践
- ・三重がん・生殖医療セミナー開催予定